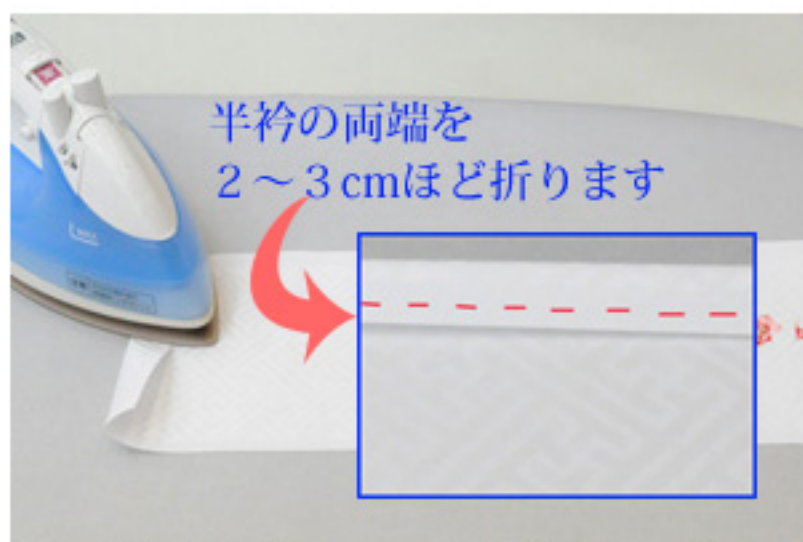




半衿全体に
アイロンをかけます

〔1〕始めに、半衿全体にアイロンがけをしましょう。



半衿の両端を
2～3cmほど折ります

〔2〕半衿の両端を2～3cmほど折り込み、軽くアイロンを掛け、縁に添って、しつけ縫いをします。





1.5cmほど折ります

〔3〕半衿の耳の片方を約1.5cm程裏に折り込み、アイロンをかけます。



〔4〕長襦袢（表側）の衿中心と、半襟の中心を合わせて、マチ針で留めます。

 **アイロンがけのポイント**
絹の場合は中温で、裏からかけます。
ポリエステルの場合は、当て布をしましょう。

 **補足** 半衿を折り込むのは、長さ調整の為です。
しつけ縫い：縫い目や折り目を固定するために、
仮にとじたり、抑え縫いをしておく縫い方




〔5〕背中心から、両肩端に向かって、半衿の端までマチ針を留めます。

 **ポイント**
背中心から、マチ針をとめましょう。




〔6〕半衿の端から、縫い目が表に出ないように端まで縫えば、表側の衿付けは終了です。

 **おすすめの縫い方**
くけ縫い：ひと針すくって、その針目を返して、ひと針進む縫い方です。縫い目が表に出ないように縫う方法で、仕上がりがきれいです。
この縫い方でないといけないわけではありません。




〔7〕長襦袢（内側）で、長襦袢の衿幅に合わせて、半衿をおります。（4）、（5）と同様に、マチ針を留め、端まで縫えば、裏側の半衿付けは終了です。

 **ポイント**
縫う前に、アイロンをかけると、仕上がりがきれいです。



〔8〕長襦袢への半衿つけの完成です。衿芯を入れるとよりきれいです。

 **補足**
衿芯を入れる場合は、長襦袢の内側に差し込みます。表側に差し込むと、着た時に、衿芯の形が表に響くので、注意しましょう。